

取り出しやすい場所に保管してください 保存版

長門市 高潮ハザードマップ

自分の命は
自分で守る
日頃からの
備えが大切
地域で
助け合おう

Nagato City
High Tide Hazard Map

普段の生活の中で、高潮で浸水する高さを認識しておきましょう。
避難場所や避難経路、緊急連絡先などを確認しておきましょう。

高潮ハザードマップとは

このマップは、台風などの影響により、海面が異常に上昇し、堤防を越えた場合の浸水想定結果に基づいて、浸水が想定される区域や浸水の程度、避難場所等を示して、住民のみなさんの避難に役立つよう作成したもの。

このマップに示した高潮浸水予測区域図は、「山口県高潮ハザードマップマニュアル」に基づき作成しました。なお、本マップで示している浸水予測区域以外でも浸水する可能性があります。実際の浸水深は、想定最大浸水深よりも深くなる場合がありますので、ご注意ください。



●いざというときの連絡先

名 称	電話番号	名 称	電話番号
長門市役所	0837-22-2111(代表)		
長門市消防本部・中央消防署	0837-22-0119(代表)		
長門警察署	0837-22-0110(代表)		

消防 火事・救急 119番 警察 事故・事件 110番 海上保安 118番

防災メモ

家族みんなで避難先や緊急時の連絡先などについて話し合い、ここに書き込みましょう。また、このマップを持って実際に避難先まで歩いてみましょう。避難先までにかかる時間や危険なところなどをチェックし、安全で避難しやすい経路を確認しましょう。

●避難場所

第1候補	第2候補	第3候補
避難場所までの危険箇所	避難場所までの危険箇所	避難場所までの危険箇所
()が歩いて避難した場合にかかる時間 分	()が歩いて避難した場合にかかる時間 分	()が歩いて避難した場合にかかる時間 分

●家族の連絡先

名 前	生年月日	血液型	会社や学校の連絡先	携帯電話番号

災害時の連絡方法

地震や洪水などの大災害発生時は、電話利用が急激に増加し、電話がつながりにくい状況が続くことがあります。このような場合は、以下のサービスが開設されます。

災害用伝言ダイヤル	伝言の録音方法	伝言の再生方法
このサービスは、大規模な災害が発生した場合、「声の伝言板」(安否情報)の役割をする電話サービスです。被災地内とその他の地域の人々との間などで、伝言の登録・再生することができます。	① 1 7 1 をダイヤル ② 1 を押す ③ 被災地の方の電話番号を「市外局番からダイヤして下さい」 ④ 伝言を録音する	① 7 1 をダイヤル ② 2 を押す ③ 1 を押す ④ 伝言を再生する

災害用伝言板(web171) <https://www.web171.jp/> 左記URLへアクセスし、案内に従って操作してください。

スマートフォン・携帯電話・PC等から災害用伝言板(web171)にアクセスすることで、テキストによる安否情報(伝言)の登録・確認を行うことができます。*体験利用日は、災害用伝言ダイヤルと同様です。

*上記の他に携帯電話各社から「災害用伝言サービス」が提供されます。利用方法については各社ホームページ等でご確認ください。

発行 長門市役所 防災危機管理課 〒759-4192 山口県長門市東深川1339番地2 TEL 0837-23-1111 平成29年2月作成

高潮災害のおそれがあるとき

高潮に関する注意報・警報の発表

高潮によって災害が起こるおそれのあるときは、「高潮注意報」や「高潮警報」が気象庁から発表されます。さらに、重大な災害の危険性が著しく大きい場合には「高潮特別警報」が発表されます。

種類	発表基準
高潮注意報	台風や低気圧等による異常な海面の上昇により災害が発生するおそれがあると予想したときに発表
高潮警報	台風や低気圧等による異常な海面の上昇により重大な災害が発生するおそれがあると予想したときに発表
高潮特別警報	数十年に一度の強さの台風や同程度の温帯低気圧により高潮になると予想される場合に発表

避難情報の発令

避難情報は、災害の状況に応じて3段階に分けて発令します。避難情報の内容と周囲の状況に注意して行動してください。

情報の種類	避難の準備を始めましょう。	避難を始めましょう。	ただちに避難してください!
みなさんの行動	避難準備 高齢者等避難開始 避難の準備を整え、ラジオやテレビの情報を十分注意してください。 ▶お年寄りや体の不自由な方は避難を始めてください。	避難勧告 家庭、近所の方に助け合いながら避難を開始してください。 ▶お年寄りや体の不自由な方は避難を完了してください。	避難指示(緊急) 危険が迫っています。一刻も早く避難を完了してください。 避難が間に合わない場合は、命を守る行動をとってください。
緊急度	低	中	高

地域ぐるみで支援しよう 避難行動要支援者

高齢者、障がい者、乳幼児等の特に配慮を要する方(要配慮者)のうち、災害発生時に自ら避難することが困難で支援が必要な方を、避難行動要支援者といいます。避難が必要となった場合は、地域で協力しながら、近所の高齢者、障がいのある方などの安否確認、避難場所への移動を支援しましょう。

高齢者・病人

●おふくろで安全な場所まで避難する。



目の不自由な方

●声をかけ情報を伝える。



肢体の不自由な方(車椅子)

●階段では2人以上必要。上りは前向き、下りは後ろ向きにして移動する。



耳の不自由な方

●話すときは、口をハッキリと開け、相手にわかりやすくする。



おぶづけ避難する。

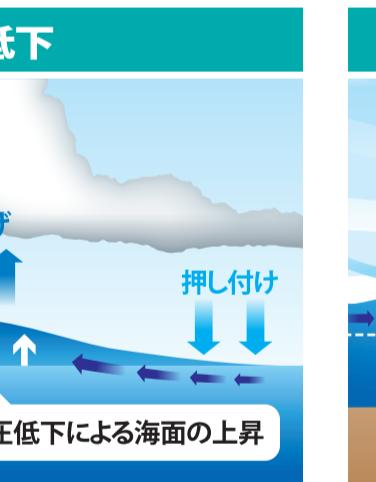


高潮をもっと知ろう

高潮発生のしくみ

高潮とは台風や発達した低気圧によって、海岸付近で海面が異常に高くなる現象です。高潮発生の主な要因としては、以下の2つがあります。

気圧の低下



風の吹き寄せ



台風などの強風が沖から海岸に向かって長時間にわたり吹き続けると、海水が海岸に吹き寄せられて海岸付近の海面が異常に上昇します。

高潮の満潮と高潮のピークが重なると、海面が上昇しやすくなり危険です。
また、大雨により河川の水位が上昇している場合、河口付近ではさらに水位が高くなるおそれがあります。

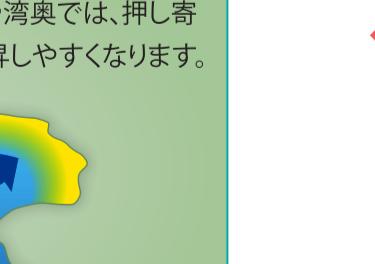
高潮の被害を受けやすい場所

高潮による海面上昇は、海底地形や海岸形状によって大きく異なります。次のような場所では高潮災害に対する警戒が特に必要です。

ゼロメートル地帯



遠浅海岸や沿岸



高潮による主な浸水原因

①高波による堤防・護岸からの越波



②高潮による堤防・護岸からの越流

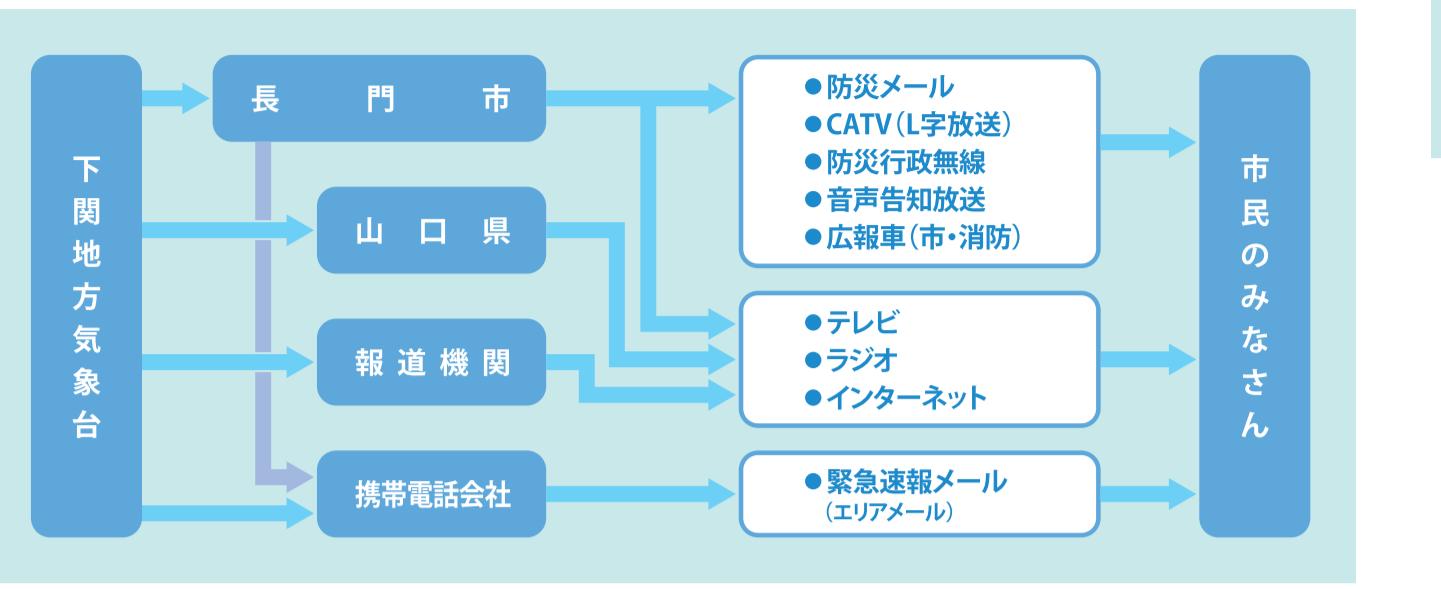


③洪水による河川堤防からの越流

災害・避難情報の取得

最新かつ正確な情報を入手しよう

災害の危険性が高まつたとき、長門市役所などの公共機関から高潮警報等の避難に関する情報が発信されます。最新かつ正確な情報を入手し、安全に避難しましょう。



いざというときに備えて、日頃から防災に関する情報を入手できるようにしておくことが大切です。
自ら情報を収集し、危険を感じたときには自主的に避難してください。

●情報自分で集める

防災行政無線

緊急情報をサイレンや音声で伝えるシステムです。「避難に関する情報」や「全国瞬時警報システム(アラート)」による気象情報などを市内65か所に設置した屋外拡声子局から伝達します。

*大雨や豪雨時には、防災行政無線の音声が聞き取れにくくなります。

CATV「ほっちゃテレビ」L字放送
地域の情報を放送していますが、災害時には、災害・避難情報をトロッピングで流れます。

音声告知放送

「避難に関する情報」や「全国瞬時警報システム(アラート)」による気象情報などをお知らせします。屋外拡声子局から伝達します。※録音機能がありますので、再確認できます。

FMアカ「87.8MHz

FMアカの電波を使用して、緊急時に市から災害・避難情報などの割り込み放送を行います。

●情報自動的に受け取る

長門市防災メール

あらかじめ登録(無料)しておいた携帯端末やパソコンに、市から気象情報・避難情報などの防災情報がメール配信されるサービスです。

登録方法 ① e-nagato@xpressmail.jpへ空メールを送信してください。
② 押り返し、登録用メールが届きます。案内に従ってご登録ください。

エリアメール・緊急速報メール
エリアメール(NTTドコモ)・緊急速報メール(au、ソフトバンク)は、気象庁が配信する情報や、市が発信する災害・避難情報を受信することができます。このサービスは、お問い合わせください。

エリヤメール・緊急速報メール

エリヤメール(NTTドコモ)・緊急速報メール(au、ソフトバンク)は、気象庁が配信する情報や、市が発信する災害・避難情報を受信することができます。このサービスは、お問い合わせください。

高潮から身を守る

避難のポイント

いざというためのために、日頃から避難に必要なものを整理し、避難の手順について話し合っておきましょう。また、災害の危険性が想定された場合には、情報を入手して、早めの避難を心がけましょう。

状況により、すぐや避難しましょう 避難情報などが発表されていなくても、状況などから判断し、直ちに避難しましょう。	**浸水時、自動車での避難は危険** 普通自動車は約30cmの浸水で走行困難になります。浸水時、自動車での避難は危険です。

</tbl_r